



本当の姿（醜態）をご紹介できないのが残念！

福島県母畑温泉へ

「八幡屋へおかえりなさい！」

（事業部会幹事・S）

恒例の親睦旅行が、2月17日（日）～18日（月）の2日間、老若男女？ 40名（男性23名、女性17名）が参加して実施された。心がけがよいんでしよう、2月というのに暖かく、しかも快晴だ（さいささいいねえ）。

「出発！」「今でしょー！」。一路、2度目の「八幡屋」（19年に宿泊）へ。

伊野会長の短い挨拶のあとすぐに「乾杯！」。勿論バスはKM（国際観光）の大型デラックス。ドライバーは竹之谷さん、ガイドはNo.1の林玲華（リンちゃん）嬢。例によつてすぐに飲み物が配られ、宴会の始まりだ。さてさてガイドのリンちゃん「立て板に

水」じゃなく、ウィットにとんだ軽快なテンポと人を引きつける爽やかなおしゃべりが素晴らしい。すぐにみんなの人気者です（さすが）。車中は呑むほどに酔うほどに大賑わい。いいムードのうちにホテル到着。「帰ってきたよ 八幡屋！」（参考までに車中の飲酒量は、5升と少々、ビールとワインなどなど。「恐れ入谷の鬼子母神でした」）

「時間ですよ」。お楽しみの大宴会。挨拶もカンパイもそこそこ、見る見るうちに盛り上がり、飲んで歌って、舞台せましと踊りまくり大盛況、あつという間の2時間でした（みんなの笑顔が素晴らしい）。

いよいよ恒例の3次会の始まり始まり。いやー集まったねえ、押せ押せの大混雑（うれしー！）。またまた「飲みねー、飲みねー、寿司食いねー」。山賊の酒盛り状態です。時折「今度の会長は誰？」などの話しも飛び交うなど最高潮。でも限界はないんですか。「今、なんどきだあー」、「廿三どきだー」、「ナニー」てな具合です。しかしいつお開きになったのか定かではない。

翌朝、全員が無事にお目覚め（良かったね）。朝食。朝から飲んでいる者もいる。「大丈夫なの？」なんて心配しませんが。ホテル前で記念撮影後、美人若女将や大勢の仲間さんらに見送られて出発進行。途中ルートを変更。津波被害の爪痕が生々しく残る海岸沿いの豊間地区から塩屋岬へと向かう。市街地一面に家屋の土台（コンクリート）だけが残っており、流されなかった家が無惨な姿で点在している。三階建ての豊間中学校が無惨な傷痕を残したままで、街には人影はなく

異常な雰囲気漂っていた。その光景は強烈でやり場のない憤りと悲しみを一層募らせた。車中には、目頭を押さえて涙ぐむ悲かな顔をしたみんながいた（犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたします。合掌）。

さあ、気持ちを切り替えて。福島の方まで頑張ろう！

車中はリンちゃんガイドの軽快な話術と應對にハマリ、菓子処「柏屋」で薄皮まんじゅうを買いこころにはみんな元気をとり戻した。さてお昼タイム「いわき・ら・ら・ミュウ」です。みんな思い思いの食事・お土産を求めて出かけて行きました。最終コーナりの車中は、またまたリンちゃんのノリに乗せられて大賑わい。和気藹々楽しかったですぞ（結構でした）。

昔こんな歌がありました。「う疲れを知らない子供のようによ」と。皆さんは本当に元気です。怪物です（お見それいたしました）。

解散地・八重洲口へ到着。お疲れさまでした。来年またねー。ということでごさいます（お粗末記）。

今回の事件簿

1、「朝の1時間は許せない事件」

集合時間の変更を知らされず、6～7人のお姉様方が1時間以上早くてしまいました（ブンブンです）。

2、「忘れ物を忘れた事件」

幹事Sさん、忘れ物のマフラーを自室に持ち帰ったが、翌日、自室に忘れたままバスへ（急いでとりに戻りました。一件落着）。

3、「お土産はどこへいった事件」

解散後 Tさんから「お土産を忘れた」と電話があり、バスには忘れ物はないとの返事。Tさんに伝えると「了解」とのこと（その後はどうなったの？ 気になるね）。

どうぎんは北海道のみなさまにお約束します。

どさんこバンク宣言

- 最高の笑顔でお迎えします。
- 最前の努力をいたします。
- 最適な提案をいたします。

どさんこバンク
北海道銀行

皇居や東京タワー、
国会議事堂、
レインボーブリッジなどが
展望できるフロア。

レストラン フランス料理・鉄板焼



宴会・会議場

東海大学校友会館
The Tokai University Club

株式会社 霞ヶ関東海倶楽部
www.tokai35.jp

〒100-6035 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階
TEL 03-3581-0121（代表）FAX 03-3581-6290

